

やまなみ

御船中 学校だより



第8号 令和5年11月28日

文責：校長 福永 純一

「子は親の鏡」です

令和5年1月3日、私の娘に次女が誕生しました。私にとって2人目の孫の誕生です。初孫の長女は、3年前に生まれたので、もう3歳半になります。娘の旦那は、陸上自衛隊の自衛官で、数か月に何度かは各地の演習場での訓練があるため、短い時で1週間程度、長い時は1～2か月自宅を留守にします。その間、娘と孫たちは、土曜日になると実家に泊まりに帰ってきます。私と妻にとっては、「かわいい孫に会える」というメリットがあり、娘にとっては、「ご飯を作らなくていいし、焼き肉や鍋などおいしいものが無料で食べられる」「じいじとばあばが面倒見てくれるから楽」「色々な場所や温泉に無料で行ける」などの多大なメリットがあり、お互いに「WIN WIN」の関係です。このような中、我が子の時には余裕がなくて見えなかったことが、孫と接する中で見えてきたことがありますので、皆さんにご紹介します。

「学ぶ」の語源は、「真似ぶ」と言われるように子供は本当に親たちの真似をよくします。乳児でも目が見え始めると、大人の表情の真似をし、こちらが笑顔を作ると赤ちゃんも笑顔になり、怒った顔をすると硬い表情のままです。今、0歳の孫で色々試していますが、私が笑顔を作った時は9割以上の確率で笑顔を真似すると思われます。本当にすごいと思います。

また、歩き始めて話し始めるようになると、その真似のパフォーマンスは一気に上がってきます。話す表情や仕草、話し方、語尾の上げ下げ、方言など、親そっくりになります。特に、誰かに指示をしたり、注意をしたりする時の仕草は笑ってしまうほどよく似ています。

さらに、保育園に行き始めると、そのパフォーマンスは、ますますグレードアップします。保育園の先生がピアノを弾きながら指示を出す仕草やお遊戯の動作など、親以外の大人の真似も入ってきます。また、お友達とのままごと遊びの中では「はい、〇〇しますよ。」とか「〇〇したらダメでしょ。」など、親が普段使っているような言葉や仕草が飛び交うようになります。正に「子は親の鏡」です。

皆さん、子供の前での言動には、十分気を配りましょう。

大健闘！ものづくり部

10月28日に行われた熊本県中学生木工チャレンジコンテストにおいて、2年生の野田伊織くんが優勝し、先日佐賀県で行われた九州大会に出場しました。その結果、九州大会でも優勝を果たし、全国大会（オンラインでの大会）に出場します。

また、11月11日に行われた熊本県アイデアロボットコンテストにおいて、2チームが準優勝と敢闘賞に輝きました。そして、12月9日に福岡県で行われる九州大会には、1年生3チーム、3年生1チームの計4チームが出場します。健闘を祈ります。

素晴らしかった！立会演説会

11月16日に生徒会役員選挙に先立ち、立候補者と応援者による立会演説会を行いました。2年生6名、1年生6名が立候補をし、どの立候補者・応援者も「御船中を更に素晴らしい学校にしていきたい」という思いのこもった素晴らしい演説をすることができました。

投票の結果、2年生の井本陽菜さんが生徒会会長に、2年生の井上大誠くんと1年生の松本大知くんが生徒会副会長に選出されました。今後の活躍が楽しみです。



12月の主な行事予定

- 1日(金) 1・2年生県学力・学習状況調査
- 4日(月) PTA役員会(19:00～)
- 8日(金) 授業参観 学級懇談会
PTA教育講演会
- 10～12日(日～火) 2年生修学旅行
- 13日(水) 2年生振替休業日
- 14日(木) 2年生遅延登校(3校時～)
- 15日(金) 生徒会役員認証式
- 21日(木) 委員会活動
- 22日(金) 大掃除 終業式